

19-121

2019年12月26日

東京メトロサービスマネージャーおよび東京駅、銀座駅などの旅客案内所で AI 通訳機「POCKETALK® (ポケットーク) S」を導入します！

1月1日(祝・水)より利用開始

東京地下鉄株式会社(本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」)は、2020年1月1日(祝・水)からAI通訳機「POCKETALK® (ポケットーク) S」(以下、「ポケットーク S」)を、東京メトロのサービスマネージャーおよび東京駅、銀座駅などの旅客案内所で、接客ツールとして導入を開始します。

ポケットーク S は、互いに相手の言葉を話せない人同士がコミュニケーションできる双方向の音声翻訳機です。74言語に対応し、55言語では音声とテキストに、19言語ではテキストに翻訳できます。

東京メトロでは、訪日外国人旅行者からのお問い合わせが近年増加しています。駅構内を移動しながらご案内を行なうサービスマネージャーや東京駅・銀座駅など5か所の旅客案内所において、ポケットーク S を接客ツールとして導入することにより、更なるご案内の充実に努めて参ります。

詳細は、別紙をご覧ください。



ポケットーク S を活用したご案内イメージ



ポケットーク S

AI 通訳機「ポケットーク S」導入に関する詳細

1 ポケットーク Sとは

AI 通訳機「ポケットーク S」は、Wi-Fi のないところでも世界 133 の国と地域でそのまま使えるモバイル通信機能を内蔵した小型翻訳機です。

搭載したカメラで文字を撮影すると、55 の言語を自動で認識して翻訳できる機能のほか、旅行を中心とした 6 つのシーンでリアルな会話が練習できる、会話レッスン機能を搭載しています。

詳細につきましては、「ポケットーク S」公式ホームページ（URL <https://pocketalk.jp/>）をご覧ください。

2 導入時期

2020 年 1 月 1 日（祝・水）より利用開始予定。

3 導入場所

- (1) 駅構内旅客案内所
上野駅、銀座駅、新宿駅、表参道駅、東京駅
- (2) サービスマネージャーが配置されている駅
上野駅、浅草駅、秋葉原駅、日本橋駅、池袋駅、銀座駅、押上〈スカイツリー前〉駅、新橋駅、新宿駅、新宿三丁目駅、六本木駅、飯田橋駅、九段下駅、表参道駅、明治神宮前〈原宿〉駅、東京駅



4 導入台数

28 台

5 お問い合わせ先

東京メトロお客様センター TEL0120-104106（年中無休 9:00～20:00）

以上